

課題と取り組みの方向性について

● 受診相談体制の充実

(1) 受療行動の適正化

① 相談機能の充実

【課題】

- 相談先選択肢の拡大が必要（電話による医療機関への問合せ数増加）
- 相談から受診へ繋ぐ体制の確保
- # 7 1 1 9、# 8 0 0 0の相談時間帯の見直し・応答率の向上

【取り組みの方向性】

- オンライン相談・診療の活用
- # 7 1 1 9の24時間化、回線の増強

② 市民への周知・啓発

【課題】

- # 7 1 1 9、# 8 0 0 0の認知度向上
- 市民の理解・協力による救急利用の適正化
- かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及

【取り組みの方向性】

- 診療所や調剤薬局等と連携した# 7 1 1 9、# 8 0 0 0の市民向け広報
- 市民がかかりつけ医や救急医療への知識を深める場の提供

● 初期救急医療体制の維持・充実

(1) 初期救急医療体制の確保

① 在宅当番医制

【課題】

- 休日当番医（内科）の代替機能の確保

【取り組みの方向性】

- 内科の在宅当番医制に代わり、機能を維持するための方策・体制を検討

● 初期救急医療体制の維持・充実

② 休日夜間診療所

【課題】

- 受診しやすい環境の整備
- 感染症患者を受け入れられる体制の整備
- 適切な診療科目
- 二次救急及び三次救急への転送時における課題への対応
- 年末年始等の繁忙期におけるバックアップ体制の確保
- 医療従事者の確保
- 効率的な運営の実施

【取り組みの方向性】

- 北部急患診療所の移転を含めた施設のあり方の見直し
- 北部急患診療所における診療科目の見直し
- 二次救急医療機関との連携強化
- 医療従事者確保先との連携強化
- 急患センターにおける診療時間の見直し（深夜帯の短縮・廃止）
- 受診相談機能の拡充も含めた応需体制の充足

● 初期救急医療体制の維持・充実

③ 休日夜間歯科診療所

【課題】

- 市内歯科診療所の休日・夜間における診療の現状に応じた体制の確保

【取り組みの方向性】

- 患者数の減少している夜間診療の体制見直し
- 年末年始等繁忙期における応需体制確保

④ 二次救急医療機関ウォークイン

【課題】

- 軽症患者の利用による二次救急医療機関の負担増
- 初期救急医療機関との連携・役割分担

【取り組みの方向性】

- 初期救急医療機関との連携強化
- 市民の利用適正化に向けて、初期救急との役割分担に関する周知・啓発

● 初期救急医療体制の維持・充実

⑤ 初期救急医療体制全般

【課題】

- 医師の働き方改革の影響
- 医師の初期救急に対する関心度
- 本市におけるニーズや現状、今後の変化に関する分析

【取り組みの方向性】

- 医師会、各大学、県など関係機関との連携
- 医師向けの救急医療に関する啓発
- 今後のニーズも踏まえ、受診相談機能や体制全体での最適化